



2017年6月15日 第2284回例会
6月第3例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「ロータリー親睦活動月間」

◆会長時間◆

香川会長



本日は、ロータリー関係で面白い記事を見つけましたので、紹介します。それは、「切手に見るロータリー史」というものです。

ロータリー活動は、80年以

上にわたり、世界各国で記念切手のデザインとなっていました。初めて登場した記念切手は、オーストラリアのウィーンで開かれたRI国際大会を記念して1931年に発行された切手で、これは後に公式切手になったそうです。

以来、1940年のハバナ国際大会（キューバ）、1961年と1978年の東京国際大会、1981年のサンパウロ国際大会（ブラジル）、1987年のミュンヘン国際大会（ドイツ）など、数々の国際大会を記念した切手が登場しました。1955年のロータリー50周年には、27カ国が記念切手を発行し、その多くにはなじみのロータリーのイメージが刷り込まれています。例えばギリシャでは、ロータリーの歯車に数字の50を埋め込んだデザインが使われました。ポール・ハリスの顔やその国の代表的な景色などもよく見られるデザインです。

ロータリー75周年には、ベナン（中央アフリカ）、キプロス、ジブチ（東アフリカ）、ドミニカ、ガーナ、イランをはじめとする各国が記念切手を発行しました。オランダ領アンティル諸島（中央アメリカ）の郵便局では、特別な絵葉書や切手を販売

しただけではなく、ロータリーの徽章の形をした消印をつくり75周年を祝ったそうです。またモリディブ（インドの南）では、保険、飢餓救済及び人間尊重（3-H）補助金をモチーフにした切手が発行されています。

2005年には、ロータリーの100周年を祝ってフランス、ガーナ、ペルー、トーゴ（中央アフリカ）で記念切手が発行されました。

各国のロータリーの記念日、奉仕プロジェクト、人道的活動を記念して発行されたものもあります。1960年にボリビア（南米）で発行された切手は、ラパス・ロータリークラブが後援した小児科病院の建設を記念したもので、ロータリーの徽章がモチーフになっているそうです。フィジー（オーストラリアの東）でのロータリー創立40周年を迎えた1976年には、救急車を購入するために募金活動を行ったクラブのプロジェクトを記念した切手が発行されたそうです。

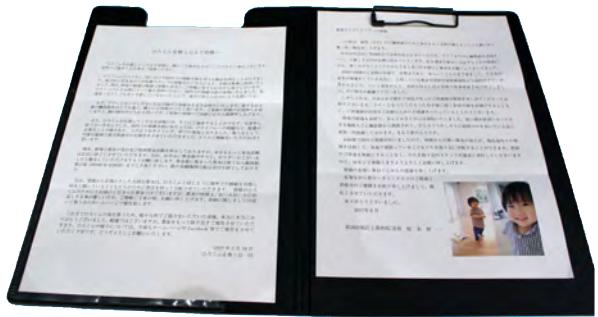
記念切手を収集しているロータリアンは大勢います。1955年以来、切手愛好家のロータリアンから成るロータリー切手収集国際親睦グループは、記念切手を収集し、ロータリーの切手に関する資料を研究しているそうです。

切手収集家の方は一度、参加してみてはいかがでしょうか。

●会務報告

新原幹事

※ひろくんを救う会と第2820地区土浦南RC会員 稲本修一様（ひろくんのお爺様）より礼状が届いておりますので、回覧いたします。



● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 西原副委員長

本日(6月15日・木曜日)

会員数 84名 出席者 66名

欠席者 18名 ご来客 3名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 69名

前々回(6月1日・木曜日)

出席率 100%



※ ロータリー情報委員会 諏訪(昭浩)委員長

ロータリー文庫のご紹介

本日は、ロータリー文庫運営委員会委員長佐久間崇源（東京目黒RC）氏のロータリー文庫はロータリー情報の「図書館」という記事をご紹介させていただきます。詳細は本日配布した資料のとおりですが、この記事を読んでロータリー文庫に関心を持たれた方は、ぜひロータリー文庫ホームページ (<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>) をご覧ください。

※ 次年度親睦活動委員会 諏訪(昭浩)次年度委員長

夜間例会並びに会員懇親会のご案内

毎年恒例となっております夜間例会並びに会員懇親会を、時間・会場を下記のとおり変更して開催いたします。

村上智亮会長の門出を盛大に祝い、会員相互の絆を更に強靭なものとし、且つ新会員との親睦も深めて参りたいと思います。

会員の皆様におかれましては、万難を排してご出席戴きますようお願い申し上げます。

日 時 7月27日(木) 18:00～18:10 例 会

18:10～20:00 懇親会

場 所 うを久

※ 会報雑誌・広報委員会

小橋委員長

会報雑誌・広報委員会の小橋でございます。皆さん、覚えていらっしゃると思いますが、5月第一例会でブレッド君が、卓話をいたしました。当委員会では、ブレッド君が話された卓話の内容、そして青少年交換プログラムのすばらしさを伝えたいと思い、「ロータリーの友誌」に以下の記事を投稿しました。採用されるかどうか分からぬのですが、タイトルも2つ「青少年交換留学生とロータリー」と「日本に再来日した青少年交換留学生」を考えています。

(投稿記事)

当クラブ5月第一例会のゲストスピーカーは、2010-11年度青少年交換プログラムの受入学生ブレッド・ヒスカ君というカナダ人の青年でした。17歳の青少年が、24歳の青年となり再び広島を訪問して、ロータリーの例会に出席してくれました。全会員と共に数年ぶりの再会を喜び、大変立派な青年に成長した姿にとても感激いたしました。

ブレッド君は仕事柄日本の家電メーカーに詳しい父親の影響もあって日本に興味を持つようになりました。カナダの高校で日本語を勉強していたので、来日時から日本語でのコミュニケーションはとれていたようですが、ホームステイで日々過ごすうちに日本語もまたたく間に上達し、次第に広島弁も流暢に話せるようになっていきました。カナダに戻ってからも日本語の勉強を続けたということで、大学入学時には日本語能力が大学4年生レベルを超える、希望する日本語の授業をとることが出来なかったそうです。そこで、彼の熱心な日本語学習意欲を理解する日本人教授の協力により日本文学に関する授業に出席することになりました。そして、日本語教育に関わるアルバイトをして過ごし、大学3年生の時に現地日本法人より奨学金を受け、再度東京の大学に留学しました。在学中には、日本語能力試験1級にも合格できたそうです。

現在、彼は誰でも知っている商社の東京本店で働いています。日系企業でありながら、主に日本国外で事業を展開している会社ということです。そして現在も青少年交換留学プログラムが推進する「日本と外国をつなげる架け橋」を

築くことが彼の仕事になっているとのことでした。ブレッド君は、スピーチの最後に「交換留学生としての1年間はもともと大きな価値のある経験だったのですが、時間と共にその価値が拡大していきました。その経験のおかげで、現在もとても仲の良い友達がいて、日本語を話せるようになっており、非常に充実した大学時代を過ごせ、かつ日本で働くという夢が叶いました。このように、留学生として広島で過ごした1年間は私の人生にとって非常に意義深い経験でした。今後はこの経験から得た言語力及び共感力を活かし、北米と日本の関係と相互理解に貢献していきたいと思っています。」と言ってくれました。青少年交換プログラムはロータリアンにとって、ホストファミリーの選定など手間のかかる難儀な事業と思われがちですが、このように青少年に人生を変えるような貴重な経験を与え、才能ある人材を育てる有意義な事業であることを再認識いたしました。

●会員記念日

■ ご入会記念月おめでとうございます。
(2名)
垂井君（H 5年） 木本君（H17年）

■ 創業月おめでとうございます。
(6名)
長谷川君 (株)ナガ・ツキ
岡野君 岡重(株)
土井君 (株)SANYO KOUKOKU
村上(智)君 (株)フジセンイ
香川(浩)君 (有)ヒロウェル
吉田君 菱光産業(株)

●スマイルボックス SAA 柴田君

○柴田君（自主申告）

柴友会6月例会は来月の取切戦の出場資格を得る為に、最後まで緊張感を持ってプレーすることが出来、また、一緒の組の斎藤君と江川君のあと押しのお陰もあり、見事優勝することが出来ました。優勝スコアの89は、大きな声では言えませんが10年ぶりに出た自己ベストタイ

でした。久しぶりに90を切ったので出宝させていただきます。

○川西君

広島経済レポート6月15日号によりますと、リフォームで地場大手のトータルリフォームセンターは、中古住宅を買い取って綺麗にリフォームした後、再び販売をする「買取再販事業」に参入されました。同社の木下社長は「自社設計・施工の強みを生かし、古くなった住宅を綺麗に再生し、年間30戸程度を供給したい」とコメントされています。トータルリフォームセンター川西君の益々のご発展をお祈りします。

○紫友会

優 勝 柴田君 (ダブル)
2 位 村上(健)君
3 位 隅田君
シニア優勝 上田君、ベスグロと合わせて
(ダブル)

●卓話予告

日時	テ　ー　マ
6/29(木)	「理事役員退任挨拶」

■卓　話



国際交流・平和に関する ロータリアンの考え方

国際交流・姉妹クラブ友好委員会
大植伸副委員長

1 国際交流の定義はある？

- (1) RI定款 第4条 ロータリーの目的(要綱)
第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること
- (2) 標準ロータリークラブ定款 第6条 五大奉仕部門
 4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、(中略)、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

2 國際交流をどう捉えるべき？

(1) 國際交流の捉え方

上記1より、

他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培ったうえで
国際理解、親善、平和を推進することを目的として
ロータリアンが行う活動
が国際奉仕活動（広義の奉仕）と考えられる。

その活動は、

① 相互の理解を深め親善を図る活動（親睦・情報交換）
② 他国や他国の人間に何らかのサービスを提供する活動（狭義の奉仕）

に大別されると思われるが、國際交流は、これの①と觀念すると分かり易い。

(2) 親睦と奉仕

このように①の國際交流（すなわち情報交換・親睦）と、②のサービス提供活動（狭義の奉仕）について分けて考える意味は、①と②の両方が不可欠であることを意識し、かつ、バランスを取るように心掛けることができるという点にある。

(3) 國際理解・國際親善・國際平和の関係

広島のクラブとしては、國際平和を3つの目的のうち最も重要なものと考え、國際理解と國際親善を進めることによって達成される最終目標と位置付けてもよいのではないか。但し、「平和」という概念も一義的ではないので、注意が必要。ロータリーが目指すのは國際平和なので、「自國のみの平和」であってはならない。

(4) 組織の目的を知り守ることの重要性

組織とは、その構成員が共通の目的を持って活動する団体。従って、その目的について認識を共通にし、その目的に向かって活動しなければ、組織を作る意味がなくなってしまう。

3 國際交流を効果的にする手段

「國際交流を効果的にする手段は、家庭滞在から家族ぐるみの交友に持ち込むことこそ最善の方法」とされている。

4 姉妹クラブについて

(1) 姐妹クラブとの交流の意義

ア 國際奉仕の目的を達成するために、ロータリアンの誰もが、直接参加できる活動である。

イ 会員が実感を持てる活動であり、親睦を顕著に深められる。

ウ 互いに相手を知り、その境遇と必要をわきまえて行うことで、奉仕はよい実を結ぶ。

エ 姐妹クラブとの交流によって得られた情報や体制を活用して、学生交換などのより具体的な奉仕活動が実践でき、國際間の理解と親善の輪が広がり、質が高まる。

(2) 台南RC訪問で感じたこと

ア ロータリーが國際的な組織であることを再認識でき、國際奉仕活動に対する意欲が高まる。

イ 文化の異なる国のクラブの活動に触ることで、自己の所属クラブの活動に新しい視点を与えることができる。

ウ 姐妹クラブを訪問し、歓迎されることで、ロータリー活動が楽しくなる。

エ 何年かに一度、一部の会員が訪問し合うだけでは、交流が深まらないのではないか。

5 宮島ウォーキングで感じたこと

(1) 広島西RCにとって身近で実施しやすい國際交流活動の1つである。

(2) 大きな事業を何年か掛けて実施するよりも、短期間に繰り返すことにより、活動を行っているという充実感が得られやすい。

(3) 海外からの参加者（留学生など）の考え方や認識を積極的に聞きだす場を設けることによって、有意義な相互理解のための活動になりうる。

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索 